



日本共産党

杉並区議会議員予定候補
日本共産党杉並地区医療・介護対策室長

地域と共に

看護師40年

酒井 まさえ

さかい

〒166-0003 杉並区高円寺南 3-30-12 03-3314-5551

私の公約

- 区立施設再編（リストラ）計画ストップ
- 国民健康保険料と介護保険料の引き下げ
- 認可保育園の増設。区立保育園は直営を守る
- 医療費窓口負担の軽減。特養ホームの質の向上
- 公契約条例の制定
- 「子どもの貧困」克服緊急対策の確立

酒井まさえさんに期待します

酒井まさえさんは、診療所、訪問看護で地域のみなさんには「診療所の酒井さん」と信頼されています。

現場の声を政治に届けられる人です。この地域での日本共産党の代表として、酒井まさえさん勝利のためにがんばります。



東京都議会議員 原田あきら

酒井まさえプロフィール

1957年栃木県大平町（現栃木市）生まれ。慶応義塾大学病院付属厚生女子学院卒業。慶応義塾大学病院、宇都宮共立診療所、鬼子母神病院、東京健生病院、杉並区せいきょう診療所、和田堀診療所、すぎなみ中央訪問看護ステーションに勤務し、2018年8月退職。趣味はコース。家族は夫と2女1男、孫2人。

政治を変えれば守れる命がある

私は看護師として40年働き、人に寄り添い、生きることをささえてきました。

でも「医療費がもっと安かったら」「介護保険が安かったら」と受診を我慢している人がたくさんいます。生活保護を受けられる直前に亡くなった方もいました。「政治を変えれば守れる命がある」と言うのが実感です。だから区

政に挑戦します。共産党が区議会で7議席になれば、冷たい区政を変えることができます。そのためにがんばります。

2018年9月



酒井まさえ

子どもたちにもたらす
憲法9条を生かし、
平和な社会を
引きつぎます



共産党を伸ばして国保料軽減を

今年6月の区議会に、日本共産党区議団は、国民健康保険料の一部軽減を求める条例案を出し、多数を握る与党も反対できず、継続審議となりました。

区民の声とむすんだ共産党の奮闘が区政を動かしました。共産党区議団を増やして、次の議会では条例を可決させましょう。



医療・介護のゆきとどいた杉並を
酒井まさえに託して
ください

困っている人をささえる議員

議員さんと言うと、いつも頭の中にあるのは、栃木県大平町議の大森さんです。私の父はアル中で、家が大変でしたが、大森さんは夜でも駆けつけてくれたり、いっしょに断酒会に行ってくれました。

困っている人をささえるのが共産党の議員だと思います。そんな人になれたらと思います。

酒井まさえ

高齢者弱者のため 大きな期待

東京西部保健生協で大活躍された酒井まさえさんが、原田あきら都議の後継者として区政で活躍することに、大きな期待を寄せています。



地域の介護・医療活動を永年経験し、高齢者弱者の実態を深くとらえておられる酒井まさえさんの出番であろうと確信しています。

和泉4丁目 新田榮男

平和で災害に強い まちづくりを

酒井まさえさんは、いのちや暮らしを守る最前線で、病人や高齢者、障害を持った方たちに寄り添い看護師として働き続けてきました。



その経験をフルに活かして、誰もが安心して住み続けたい平和で災害に強いまちづくりの牽引力になって下さることを期待します。

元日赤看護大学学長 川嶋みどり